

橙和

— TOWA —

Vol.11 2024年度下期号

新潟食料農業大学 大学だより



2024年度卒業式・大学院修了式

- 1 後援会会長あいさつ
 - 2 学長あいさつ
 - 3 新潟食料農業大学ニュース
〈2024年度下期〉
 - ・男子ラグビー部2部昇格
 - ・保護者会開催
 - ・橙和祭開催
 - 4 2024年度下期 キャリア支援
について
 - 5 メールアドレスご登録のお願い
- ・国際理解セミナー
 - ・越後姫紅茶
ストロベリーティー完成
 - ・卒業式・大学院修了式



橙和…一期生による造語。本学のイメージカラーであるオレンジと、その実が春先から夏場にかけては青く、秋には見事に熟す「橙」を自分たちの成長になぞらえ、そしてその「和」が永遠(とわ)に続くように、との願いを込めています。

1 後援会会長あいさつ



新潟食料農業大学 後援会会長
佐藤 有美

新潟食料農業大学後援会会長を務めさせていただいております佐藤有美でございます。会員の皆様におかれましては、平素より後援会の活動に際し、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

新潟食料農業大学後援会は、「本学の教育・研究事業を援助し、本学の発展に寄与すること」を目的として活動しております。

地域に根差したサークル活動は本学の大きな特色の1つですが、2024年度後期もその特色を存分に活かした活動が行われました。特に、新しい取組として胎内市の長池農産物直売所「リップル」の活用に関するものがございます。この施設は、春にはチューリップフェスティバルの会場として広く利用されていますが、閑散期の活用が課題となっておりました。そこで胎内市と学友会とで連携して12月より月1回程度、自分たちで生産したものを加工して販売する活動を開始いたしました。現在の活動はまだ小規模ではありますが、学生たちが地域とのつながりを深めながら意義のある取組を進めています。

また、10月に開催された大学祭「橙和祭」では、多くの来場者にお越しいただき、各サークルによる出店や豪華ゲストによるライブなど、大いに盛り上がりました。同日に開催された保護者会にも多数のご参加をいただき、本学の教育活動について理解を深めていただく貴重な機会となりました。

指定強化部の活動では、特にラグビー部の活躍が目立ちました。2部昇格を目指してチーム一丸となって取組み、昨年度に引き続き3部リーグ全勝優勝を果たし、入れ替え戦では、見事勝利を勝ち取り、2部昇格の悲願を達成することができました。

このように、大学では、いたる所で成長が形となって表れ始めています。今後も引き続き、学生の皆さんの成長を支援し、より良い学びの環境を提供できるよう努めてまいります。会員の皆様におかれましても、引き続きご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 学長あいさつ



新潟食料農業大学 学長
中井 裕

本学は、開学から7年経過し、教育、研究ともに、順調な歩みを続けています。2024年4月に新設した大学院博士課程では1名の入学者を迎え、これにより学部から大学院まで全て揃って、大学は充実の時を迎えています。

本年も本学の特徴である「キャンパスを飛び出し地域社会に学ぶ」姿勢が存分に発揮され、学生達が自主的に作って組織化してきたクラブやサークルは、いまや20以上あり、どれもが活発で目覚ましい活動をしています。また、外部団体などから求められて、学生達が集まって各地に出向く活動も進められています。

地域の関係者と連携した例としては、連携協定を結んだ津南町の呼びかけで実施した見学ツアー、福島県いわき農林事務所と連携した「いわきの地域農業を支えるひとづくり事業」による中山間地域での農業・畜産体験と地域おこしに関する意見交換会、今回が2回目になる糸魚川市での「棚田みらい応援団」への参加、村上市での「山焼き農法による赤かぶ栽培体験プロジェクト」への参加など幅広く行われました。また、地域の食や商品化に関する活動も活発で、村上市の「ほうじ茶ハーブティー」および「越後姫紅茶ストロベリーティー」の商品化、粟島のさつまいもを使用した特産品「しまはるか」の商品化、胎内市の農産物直売所「リップル」での学生主催マルシェ開催、胎内市内の小中学校の給食メニューへのイタリア野菜の提供などが行われています。この中でも、越後姫紅茶ストロベリーティーは卒業式で配布され、好評を博しました。

ビジネスコンテストなどへの出場も盛んで、11月に開催された「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024で準グランプリおよび2件の特別賞を受賞しました。

スポーツ活動も、引き続き盛んです。よき指導者の下、自主性を活かした活動を行っています。自転車競技部は登録選手数では全国の大学で3番目の規模に成長し、オリンピック選手も出場する全日本選手権大会で8位入賞、インカレ2024で1種目入賞を果たしました。男子ラグビー部は3部で優勝し、見事入れ替え戦に勝利し、2部昇格を果たしました。創部5年目での快挙です。柔道、陸上競技も素晴らしい成績を残しています。

地方公共団体や民間企業との連携も盛んで、7月に津南町および株式会社ベジ・アビオと連携協定、開学時に締結した胎内市・JA胎内市との3者連携協定の発展版として、10月に胎内市と包括連携協定を締結しました。また、11月には中国の重慶市農業学校と連携協定を締結しました。また、本学の新潟食料健康研究機構や学部・大学院の研究成果を活かしたアグリフォーラム（公開）も引き続き好評で社会貢献度には高いものがあります。

マーケットイン、フードチェーン、実学の重視と自由、多様、創造を目指す「食の総合大学」として経済界からの評価も上々で、2025年3月の卒業生たちも好調な就職実績を上げています。時は移り時代は変わっていきます。今後も、「変えなければならないこと」と「変えてはならないこと」を峻別して、日本と世界に貢献する人材を育てていきたいと考えます。

皆様方には、これまで以上のご支援をお願い申し上げます。

3 新潟食料農業大学ニュース〈2024年度 下期〉

男子ラグビー部 2部昇格

男子ラグビー部は2020年に創部し、創部1年目に関東大学ラグビー5部に参戦。その後順調に3部まで勝ち上がり、昨年と今年は3部リーグで全勝優勝しました。

昨年は入れ替え戦で惜敗し2部昇格とならず悔しい思いをしましたが、それをばねにこの1年、練習に励みました。そして2024年12月8日(日)に昨年の対戦相手でもある2部8位の国土館大学との試合に臨み、28-29の後半ロスタイム、逆転トライを決め、見事勝利し、2部昇格を決めました。

来シーズンは2部リーグにてさらに上を目指すこととなります。ご声援のほどよろしくお願いたします。



保護者会開催

10月20日(日)、保護者会が開催されました。

最初に学長よりあいさつさせていただき、その後本学の学修サポート、生活サポート、就職活動状況についてお話しさせていただきました。

大学祭「橙和祭」と同日開催でしたので、対面でも多くの保護者の方にご参加いただき、またオンラインでも多くの方にお聞きいただき、本学での学びについて知っていただくことができました。



第7回大学祭「橙和祭」開催

10月20日(日)、胎内キャンパスにて「食農の秋」をテーマに第7回大学祭「橙和祭」が開催されました。「食」と「農」を楽しみつくすお祭りをつくる、「食」と「農」のありがたさを再認識してほしいという想いが込められたこのテーマのもと、大変多くの方にお越しいただき、食農の秋を体感していただきました。

軽音サークルのライブでは、卒業生も駆けつけ、計10組のバンドが演奏し盛り上がりました。

ミニ体験では「お茶葉からのDNA抽出体験」「冷蔵庫を使わないアイスづくり体験」「雑草のお花アクセサリ作り」が開催され在学生も先生役として活躍しました。

屋外では、各クラブ・サークルや地域の方々の出店があり、学生が栽培した青果物や加工品などの商品が並び、賑わいました。

そして、本学の大学祭では初となる「お笑いライブ」が開催され、ぼる塾さんとインポッシブルさんが来てくださり、会場を爆笑の渦に巻き込みました。

大成功の橙和祭となりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！



国際理解セミナー

新潟県国際交流協会より委託を受け、国際理解セミナー「アジアから世界を知る！」を「中国の食と農」というテーマで、11月3日(日・祝)文化の日に開催しました。今回の開催は本学としては6回目となります。

本学の中国出身の車競飛講師による講話では、中国の食文化の概要及び農業政策の現状などについて紹介をしていただきました。その後、本学に在籍



する中国出身留学生を代表し、6名の留学生(4年生; 5名、院生; 1名)が日本へ来たきっかけや将来の夢、そして出身地の面積、人口といった基礎情報の説明後、出身地における大切な食文化、観光地などについて発表しました。多くの皆様に学生の母国について知っていただけました。

越後姫紅茶ストロベリーティー完成

本学学生の卒業研究から、富士美園株式会社様に監修していただき発売された「MELISSA 村上茶ハーブティー」「MELISSA ほうじ茶ハーブティー」に続いて、第3弾「越後姫紅茶ストロベリーティー」が完成いたしました。

もともと自然な甘みがある「雪国紅茶」に「越後姫」の自然な甘い香りを損なわれないよう大学でフリーズドライにして、いちごの風味を最大限引き出し、紅茶の味といちごの味のバランスが最適になる比率でブレンドしたものとなっております。

富士美園店舗にて数量限定で販売しています。ぜひ、ご賞味ください。



2024年度卒業式・大学院修了式

3月15日(土)に新潟市北区文化会館において2024年度卒業式・大学院修了式が挙行されました。卒業生、修了生の皆様おめでとうございます。

本学での学びを終え、社会へと飛び立っていく卒業生、修了生の皆様への祝福ムードあふれる1日となりました。

併せて、同窓会入会式も開催され、皆様に同窓会にご入会いただきました。これからは新潟食料農業大学同窓生として引き続き本学とつながっていただけることを嬉しく思います。

皆様の今後のご活躍を心より祈念しております。



4 2024年度下期 キャリア支援について

卒業生の皆様ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

新しい門出を心よりお祝い申し上げます。キャリアセンター一同、皆様のご活躍を祈念しております。第4期生の皆さんは、本学の開学目的を理解され、「食」「農」「ビジネス」と多岐に渡る食料産業界を7割以上の方が選択され、春から食の第一線で活躍されること、頼もしく思います。また、食料産業以外や進学などを選択された皆さんも、それぞれの想いを伺い、心より応援しております。

3年生(新4年生)は、3月1日より企業の求人活動が解禁となり、現在、就職活動が開始されています。この3月を迎えるまでの1年間、就職関連講座を延べ26講座開催。また、11月にはNAFU JOB博と題し、県内外企業18社をお招きし、就職講演会、業界職種研究会を開催しました。

1年間の準備を経て、就職活動に臨んでおりますので、ご家庭におかれましてもご支援いただきたくお願いいたします。ご家族からの応援が学生の力になるかと思えます。

2年生(新3年生)は、卒業後の進路を検討していただく時期となっております。

5月には進路希望調査を実施し、学生一人一人の希望を確認する予定です。それぞれの進路に沿った支援を進めてまいります。まだ進路について迷っている学生も見受けられますので、ご家庭におかれましても今後の進路について話題にあげてご助言いただき、キャリアセンターの利用を勧めていただけると幸いです。

1年生(新2年生)は、所属コースも決まり、より専門性の高い学びの場へ進むこととなります。さらにその先に、希望する業界への就職が待っておりますので、将来を見据えて勉学に励んでいただきたいと思えます。まだ希望する業種・職種が確定されていない方については、1年後には進むべき道を見つけれられますよう、支援をさせていただきますので、お気軽にキャリアセンターをご活用いただければ幸いです。

在学中はもちろんのこと、卒業された後でもお困りのことがあれば、キャリアセンターをご活用ください。

5 メールアドレスのご登録のお願い

会員の皆様とのより効率的かつスピーディな情報共有を目的に、会員の方のメールアドレスを収集させていただいております。

右記のURLまたは二次元コードよりご登録いただきますようお願い申し上げます。

【登録フォームURL】

<https://forms.office.com/r/dmikaZXZG5>

登録フォーム
二次元コード



新潟食料農業大学
Niigata Agro-Food University

▶新潟キャンパス 〒950-3197 新潟県新潟市北区島見町 940
▶胎内キャンパス 〒959-2702 新潟県胎内市平根台 2416